



高等学校における「学びのUD化」を 進めるための研修の紹介

※本スライドでは、高等学校における「学びのユニバーサルデザイン」構築事業【令和元年度（2019年度）、令和2年度（2020年度）…熊本県教育庁県立学校教育局特別支援教育課】において、熊本県立教育センターが実施した研修を紹介します。

研修の概要

研修のねらい

- ・ 学びのUD化に関する基本事項を確認し、演習や協議を通して、全校で学びのUD化の取組を進めていこうとする意欲を高める。

実施時期

- ・ 実施校では年度末
※区切りのよい時期に

時間

- ・ 40分～60分

形態

- ・ 講義、演習、協議

準備物等

- ・ 別添資料参照
- ・ 事前にグループ分けをしておく。

内容

- I 学びのUD化に関する基本事項の確認
(5～10分)
- II 事前アンケート集計結果の紹介
(5分)
- III 学びのUD化を進める際のポイント
(約30分)



Kumamoto Prefectural Education Center

特別支援教育「学びのUD化」



湧心館高等学校（全日制）



人吉高等学校五木分校



天草高等学校倉岳校

※「障害」の表記については、法令及び文献等から引用したもの以外は「障がい」と表記します。

研修のテーマ

「学びのUD化」の視点から自身の実践を見つめる



自身の考え、視野、価値観を広げる



よりよい授業づくりのヒントをつかむ



モチベーションを上げる!

I 学びのUD化に関する基本事項の確認



特別支援教育取組の方向

平成31年度(2019年度) 特別支援教育 取組の方向(特別支援教育課)より

平成31年度(2019年度)特別支援教育取組の方向 特別支援教育課
「認め、ほめ、励まし、伸ばす」教育行動指標を踏まえた教育の実現を目指して
障がいのある者とない者が共に支え合う共生社会 ^{※1} の形成に向けたインクルーシブ教育システム ^{※2} 構築のために、すべての学校等において特別支援教育の一層の推進を図る。学校においては、校長を中心に障がいのある幼児児童生徒の能力や可能性を最大限に伸ばし、自立や社会参加することができるよう、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援の充実に努める。
※1 障がい者等が積極的に参加・貢献でき、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合うことができる社会をいう。
※2 障がい者ももてる力を可能な限り発達させ、社会参加を可能とする目的の下、障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶ仕組みをいう。
1 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築
(1) 「合理的配慮」を可能な限り保護者等と合意形成を図った上で決定し、提供できる体制を構築する。
(2) 障がいのある幼児児童生徒と障がいのない幼児児童生徒の相互理解を深め、共に育ちながら協働して生活していく態度を養い、生活の経験を広げて社会性や豊かな人間性等を育成し、交流及び共同学習の充実に図る。
2 特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒の教育的ニーズに応じた指導・支援の徹底
(1) 新しい教育要領・学習指導要領に基づき、社会に開かれた教育課程を実現するとともに、教育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメントを推進する。
(2) 主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた指導の改善を図り、すべての幼児児童生徒にとって分かりやすいユニバーサルデザインの視点に基づいた授業の実現に努める。
(3) 学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、キャリア教育の充実に図る。
3 切れ目ない支援体制の構築
(1) 特別な教育的支援を必要とする子供について、就学前から卒業後にわたる切れ目ない支援体制を整備するため、「段階的な支援体制」(別紙参照)に基づき、福祉、医療、労働等の関係機関との積極的な連携を図りながら、指導・支援の一層の充実に図る。
(2) 進級や進学等に際しては、一貫した指導・支援を提供するために「個別的教育支援計画」等による引継ぎを確実にし、指導・支援の継続を図る。
4 教職員の専門性の向上
(1) すべての教職員が特別支援教育に関する理解を深め、適切な指導及び必要な支援ができるよう、特別支援教育指導力向上研修をはじめ計画的・組織的な研修の実施により、専門性の向上を図る。
(2) 「特別支援学級担任及び通級による指導担当教員のためのハンドブック」等の活用を通して、特別支援学級、通級による指導における自立活動等の指導の充実に図る。
(3) 県立特別支援学校にあつては、勤務する特別支援学校が対象とする障がい種(領域)の免許状保有率を平成32年度(2020年度)までに100%とする。
(4) 特別支援学校は、地域の特別支援教育推進の拠点として、巡回相談や研修会等の実施により、幼保小中高の教員等に対して必要な助言又は援助を行うなどして、センター的機能を十分に発揮する。

- 
- ① 共生社会
 - ② インクルーシブ教育システム
 - ③ 合理的配慮
 - ④ ユニバーサルデザインの視点に基づいた授業

① 共生社会とは？

- ・これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった障がい者等が、積極的に参加・貢献していくことができる社会である。
- ・それは、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様なあり方を相互に認め合える全員参加型の社会である。

② インクルーシブ教育システムとは？

- ・人間の多様性（個性など一人一人の違い）を尊重し、障がい者がそのもてる能力を可能な最大限度まで発達させ、社会に効果的に参加することを可能にする目的のもと、障がいのある者と障がいのない者が
共に学ぶ仕組みのこと。

③ 合理的配慮とは？

- ・障がいのある子供が日常生活や社会生活で受けている制限や制約をなくすために必要な改善や変更を、その周りにいる人が行うこと。
- ・一人一人の障がいの状態や教育的ニーズ等に応じて決定されるもので、本人・保護者との合意形成の下になされる個別の配慮である。

④ ユニバーサルデザインの 視点に基づいた授業とは？

- ・特別な教育的支援が必要な児童生徒だけでなく、すべての児童生徒にとって分かりやすい授業のこと。

- ① 共生社会 ← 社会全体で
- ② インクルーシブ教育システム ← 共に
- ③ 合理的配慮 ← 個別に
- ④ ユニバーサルデザインの視点に基づいた授業 ← みんなに

「学びのUD化」

すべての児童生徒が**安心して学べる**
教育環境を整備すること。

(環境づくり、人間関係づくり、授業づくり)

資料「学びのUD化チェックリスト」「学びのUD化リーフレット」参照

『学びのUD化チェックリスト』

『学びのUD化リーフレット』

学びのUD化チェックリスト		チェック数
No. 意欲や成長を促す言葉かけ		
1	長所やできていることを認め、ほめ、はげます言葉かけをしている	チェック
2	望ましい行動を子ども自身に意識づけられるような言葉かけをしている	
3	行動の背景や理由を子どもに聞いたり、教師自身で考えたり、理解したうえで指示や言葉かけをしている	
No. 指示の伝え方		
4	簡潔で分かりやすく、ゆっくり、はっきり短い言葉で指示したり話したりしている（「1つめは～です」「2つめは～です」等）	チェック
5	一つの指示に対して一つの行動ができるように指示している（聞くとき、書くときを明確にする）	
6	曖昧な言葉を使わず、具体的な言葉で指示するようにしている	
7	複数の指示をするときは、視覚的にも分かるように指示している	
8	否定、命令、禁止の言葉ではなく、肯定的で次の行動につながる言葉かけをしている（「～しない」「～しないより」「～しよう」等）	
No. ルール作り		
9	給食や掃除のきまり、学校生活や授業において守るべきルール等を明確に示している	チェック
10	整理整頓の仕方を決めて指導している	
No. 掲示		
11	教室の前面は必要なもののみ掲示している	チェック
12	1日や1週間の予定を見やすく掲示している	
13	急な予定変更は早めに、視覚的に分かりやすく示している	
No. 肯定的な人間関係づくり		
14	一人一人が活躍したり、認められたりする場をつくっている	チェック
15	一人一人の個性や違いを認め合える雰囲気や、分からないことや間違いを否定的に見ない雰囲気をつくるようにしている	
16	教師自身が、特別な支援が必要な子供に対するかわり方のモデルを示している	
No. 授業の流れ		
17	チャイムと共に始まり、チャイムと共に終わる授業を心がけている	チェック
18	単元や本時の初めに目標や学習の流れを示し、見通しを持って取り組めるようにしている	
19	授業の流れが分かるよう、板書の構成を工夫している	
20	導入では、興味・意欲・関心を高め、「学んでみたい」と思えるような工夫をしている	
21	展開では子どもの実態に応じて自力解決ができるような手立てや教材・教具の準備をし、分かりやすく掲示している	
22	まとめでは「わかった」「できた」という満足感・達成感を実感できるような活動を工夫している	
No. 授業の形態		
23	ねらいに応じて様々な学習形態の工夫をしている	チェック
24	集中力に配慮した授業構成や学習活動を工夫している	
25	学び合いが主体的にできるように、その方法や役割分担等を明確に示している	
No. 個別の指導		
26	全体指示では伝わりにくい子どもには、個別に指示している	チェック
27	学習に使う準備物を忘れがちな子どもへの配慮をしている（明確な指示や指導）	
28	書くことが苦手な子どもへの配慮をしている（時間の確保、板書の範囲を決める等）	
29	机間指導で、内容理解を確認したり、個に応じた指導や言葉かけをしたりしている	
No. 板書の工夫		
30	授業の流れが分かるよう、板書の構成を工夫している	チェック
31	チョークの色や字の大きさなど、子どもの「見やすさ」という視点に立って板書している	
32	大切な点やポイントが分かるような板書をしている（ライン、枠囲み、矢印、記号等）	
No. 教材・教具等の工夫		
33	ノートの取り方やファイル・プリントの整理の仕方等を指導している（モデルの提示等）	チェック
34	提示する内容をより分かりやすくするための教材・教具を工夫している（具体物、写真、絵、動画、ICT活用など）	
35	子どもの発達段階や学び方に合わせた教材・教具の準備や工夫をして、子どもが選択できるようにしている（プリントの種類【基礎・応用等】や大きさ、読みやすさ・書きやすさへの配慮、課題の量、道具・用具等）	
No. 座席の配置		
36	子どもの実態に合わせた座席の位置にしている	チェック

※熊本県立教育センター「学びのUD化取組の視点（例）」（2014）から改変

1 環境づくり

- ・意欲や成長を促す言葉かけ
- ・指示の伝え方
- ・ルール作り
- ・掲示

2 人間関係づくり

- ・肯定的な人間関係づくり

3 授業づくり

- ・授業の流れ
- ・授業の形態
- ・個別の指導
- ・板書の工夫
- ・教材・教具等の工夫
- ・座席の配置

※添付資料あり

学びのUD化が学校を変える！
学校あげて
学びのUD化を進めよう！

熊本県立教育センター 人権教育推進プロジェクトチーム

「UD」とは？

「UD（ユニバーサルデザイン）」とは、製品・建物・環境を、あらゆる人が利用できるようにはじめから考えてデザインするという概念で、障がい・年齢・性別・言語等、人が持つそれぞれの違いを超えて、すべての人が暮らしやすくなることを前提としています。

「学びのUD化」とは
すべての児童生徒が安心して学べる教育環境を整備することです。

「学びのUD化」はなぜ必要？

子どもたちの思いは

話し合い？何をどうしたらいいかわからないよ……

去年と同じように、プリントは一番前の席の人が、後ろのみんなに配りに行くんだよね。

こんなこと言ったらみんなに認められないかも？

思いに「ずれ」はありませんか？

話し合いをしてほしいんだけど騒がしいなあ。

プリントは前から後ろにまわっていくのが当たり前だと思うけど。なぜ立つの？

どうして黙ったままなのかなあ？

教師の思いは

「児童生徒が安心して学べる教育環境」とは、安心できる人間関係や環境の中で、分かりやすい授業が展開されているということです。この「教育環境」を整備することにより、子どもたちは基礎的な知識や技能を習得し、思考力・判断力・表現力等をはぐくむことができます。

「学びのUD化」を進めることは、確かな学力、豊かな心など「生きる力」をはじめ、人権を尊重する態度などをはぐくむとともに、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応えることにつながります。

第2期くまもと「夢への架け橋」教育プランには、次のように示されています。

- すべての児童生徒が理解しやすいユニバーサルデザインの視点に基づいた授業の改善
- 障がいのある人もない人も共に学ぶことのできる教育環境づくり

Ⅱ 事前アンケート集計結果の紹介



※事前アンケートは、研修実施の約1か月前に各校から協力を得ました。

事前アンケート実施対象者の内訳

天草高等学校
<倉岳校> 10人
<全日制> 35人
<定時制> 8人

湧心館高等学校
<全日制> 27人

人吉高等学校
<五木分校> 8人

回答人数:合計 **88人**

先生方の悩み・アイデア・思いが、たくさん集まりました・・・

様々な苦勞、心配がある中で…

「学びのUD化」で充実した日々を！ ～ポイント～

- ①生徒の困っている気持ちへの寄り添い、ニーズの把握からスタート。
- ②僅かな勞力、時間で、効果的に成果が上がる取組にスポット。
- ③組織的な取組として意識し、実践し、配慮等すべきことをシェア。

もっと学びたい、もっと教えたい…、よりよい循環の中で心地よい授業展開へ！

Ⅲ 学びのUD化を進める際のポイント



UD Point 1

「生徒の姿」を「生徒自身が困っている」と捉えてみると？

※演習

	生徒の姿	生徒の困っている気持ち
例	指示が通らない…	何を伝えているのか分からない!言葉だけで、早口で言われても…
①	理解してくれない…	何が大事なのかな～。たくさん覚えきれない。分かりやすく教えて!
②	落ち着きがない…	気になることが多すぎる!そんなに長くは集中力が持たないよ～…
③	意欲がない…	楽しくないし…。つまらないし…。分からないことばかりだし…
④	人とトラブルをおこす…	すぐに感情的になってしまう…。人からどう見られているのか不安だ
⑤	忘れ物が多い…	忘れまいと思うけど、ついつい…。忘れ物をしない方法を知りたい!

UD Point 2

リフレーミング…「弱み」「否定」を「強み」「肯定」に捉え直すと？ ※演習

※リフレーミング:物事を見る枠組み(フレーム)を変えて、別の枠組みで見直す(リ・フレーム)こと。

	リフレーミング前	リフレーミング後
例	飽きっぽい!	好奇心が旺盛だね~ 素直だ! 環境に馴染みやすい人柄だね~
①	怒りっぽい!	情熱的! 感受性が豊かだね~ 正義感が強い!
②	落ち着きがないね!	活動的で元気がいい こまめに動くね~ 労をおしまない!
③	臆病だね~	慎重派 用心深い! きちんとしているよ!
④	考えが浅い!	率直! 楽天的! 直感的! 大らかだね~
⑤	集中できないね~	周りの様子によく気付く! 気が回る! すごい好奇心だ!

UD Point 3

<すぐにできる…言葉かけのUD化> 否定表現を肯定表現にすると?

※演習

	否定表現	肯定表現
例	廊下は、走りません! 食べないと、大きくなるよ!	廊下は、歩きましょう。 たくさん食べると、大きくなるよ。
①	忘れないように!	覚えておこう!
②	けんかをしないように!	仲良く過ごそうね!
③	無駄遣いしない!	必要な分だけ使おう!
④	明日までに提出してもらわないと困る!	明日までに提出してくれると助かる!
⑤	そのやり方では、うまくいかないよ!	やり方を少し変えれば、うまくいくよ!

UD Point 1 ~ 3

よりよい姿、言動へ！

有能感・意欲・自信・信頼 等

UD Point 3 肯定表現でかかわる

UD Point 2 肯定的に捉える(強みを生かす)

UD Point 1 困っている気持ちに寄り添う

気になる姿、言動を…どうすれば…

UD Point 4

僅かな労力、時間で、効果的な取組は・・・

ヒントとなる取組が、自分たちのアンケートの中にある！

※情報交換

重要度
高

I 群

II 群

III 群

IV 群

低

すぐにできる

時間がかかる

自身にとって、参考となる効果的な取組は・・・

おすすめ
ベスト3!

UD Point 5

授業のUD化を、チーム・組織として、効率的・効果的に進めるために、必要だと思われる取組や工夫した方がいいと思われる取組は？

※協議

重要度
高

I 群

II 群

III 群

IV 群

低

すぐにできる

時間がかかる

チームとして、参考となる効果的な取組は・・・

ぜひ、これを、
みんなでしたい！

実際の研修の様子

※広用紙の様式の添付あり

付箋に書いて、A2用紙に貼り合せて共有し合う!

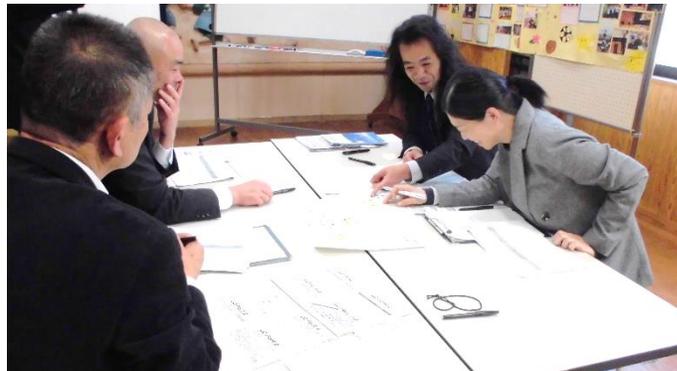
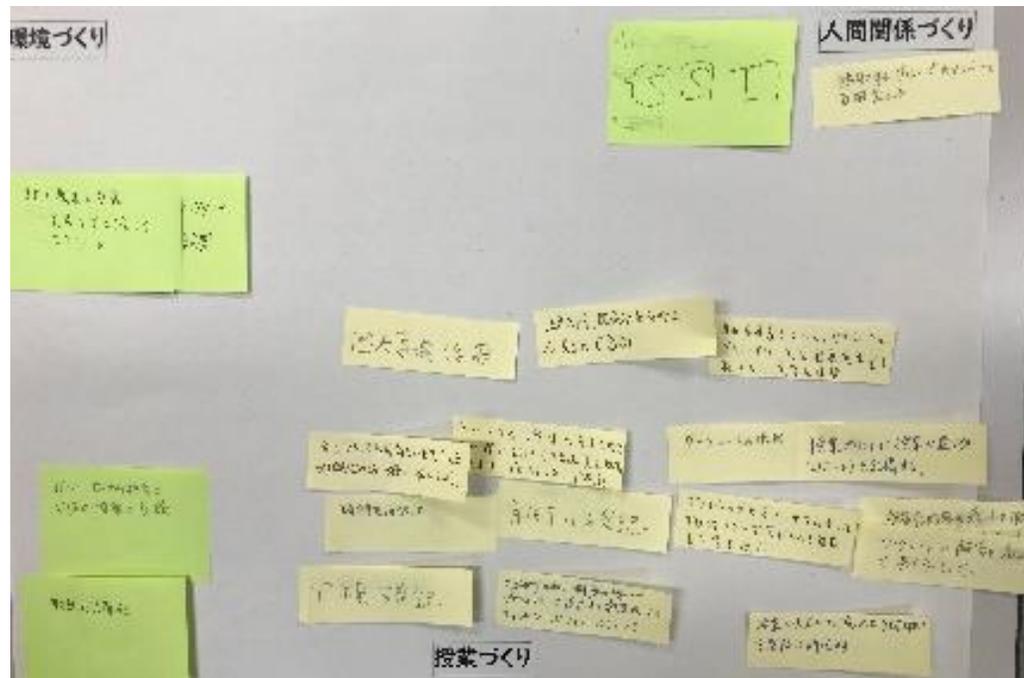
黄の付箋: 各自の工夫

緑の付箋: 組織としての工夫

環境づくり

人間関係づくり

授業づくり



UD Point 6

組織として、これから大切にしたいことは・・・

〇〇学校版「学びのスタンダード」(仮称)の作成!

- ☆無理なく、**容易**にできて、しかも**効果**が高いものを**ピックアップ**!
- ☆個々の**効果的な取組**、工夫、アイデアをどんどん**反映**させる!
- ☆教師間、生徒とは、**視覚化**で**共有**し合って!
- ☆教師も生徒も**主体性**を尊重!...自分のために自分から...**No! やらされ感!**
- ☆**プラス面**の情報を大いに共有!...よりよい実践、生徒の変容等を話題に!
- ☆互いの**助け合い**、連携を大切に!...教師も生徒も**認め、ほめ、励まし合って!**
- ☆**環境**づくり、**人間関係**づくり、**授業**づくりの視点から充実を!

※実施校が作成した各校の「学びのスタンダード」は、別動画で紹介しています。

UD Point 7

実際の取組紹介 ～各学校を訪問しながらの気づきから…～

環境づくり

後方黒板の活用

提出物（締切日）を一覧で記載。
配付済みプリントを確認用に掲示。

ワークシートの整理棚

いつでも、誰でも、段階的に取り
組める学習環境の整備。

ロッカーの整理

ファイル・教科書等を背表紙が見
えるよう縦置きに。

「授業の心得」等を視覚化し掲示
生徒に意識してほしい事項の焦
点化、視覚化。

人間関係づくり

生徒の発表時の称賛

「ありがとう!」「いいね!」等と、
一声かけることで達成感、自信に。

ペア・グループワークの活用

互いに教え合う、助けを求める、
質問し合う、意見を交わし合う姿。

プリントを回覧して互いの参考に
書き記したプリントを回覧し合い、
多様な考え、価値観を吸収。

気持ちの良いあいさつ

語先後礼、立ち止まってのあいさ
つ。教師も同様に行う。

授業づくり

授業開始時のミニクイズ

楽しく、ゲーム感覚での学び。
さりげない学びの広がり、深まり。

プリント:問題(表)、解答例(裏)
各自で確認しながら個のペース
で学習が進み、学力差へも対応。

「目標」「重要」等のカード活用
ポイントを視覚的に強調。

ワークシートの活用

記入時間の短縮化、ポイントの明確化が可能。
問題文と回答欄を分けることで、何度も使える
問題集として活用。

UD Point 8

どんな情報、資料が必要ですか？

※添付資料あり

・学習指導要領(H30告示)
→「特別支援教育」に関する記述が充実！

これを踏まえ、今回の改訂では、障害のある生徒などの指導に当たっては、個々の生徒によって、見えにくさ、聞こえにくさ、道具の操作の困難さ、移動上の制約、健康面や安全面での制約、発音のしにくさ、心理的な不安定、人間関係形成の困難さ、読み書きや計算等の困難さ、注意の集中を持続することが苦手であることなど、学習活動を行う場合に生じる困難さが異なることに留意し、個々の生徒の困難さに応じた指導内容や指導方法を工夫することを、各教科等において示している。

- ・特別支援教育充実ガイドブック(平成27年3月)
- ・特別支援教育指導力向上研修実践事例集
- ・高等学校における合理的配慮事例集
- ・高等学校における「通級による指導」等

熊本県教育委員会HP
→特別支援教育からダウンロード可

「生きる力」の育成のために、すべての生徒が安心して学べる教育環境

〇〇学校ならではの『学びのUD化』を！



※実施校の各取組は、別動画をご覧ください。

Kumamoto Prefectural Education Center

県立教育センターのスクールサポートをご活用ください！

申込は簡単！ 教育センターHPから

研修 ▼

- スクールサポート
- スクールサポート申込フォーム**
- 人権教育
- 国内留学研修
- 基礎期における手引書
- 特別支援教育
- オンライン研修

スクールサポート

当教育センターでは、県内各学校等が主体的に進める教育活動の充実及び教職員の指導力の向上の支援のため、所員が出席指導・助言も行っています。

①支援内容
各種教育研究会、市町村教育委員会（熊本市を除く）、教育事務所からの要請に応じて行います。

②支援内容

- ・学校経営・運営等に関すること
- ・教科等指導に関すること
- ・今日的な教育課題に関すること
(道徳教育、外国語教育、情報教育(プログラミング教育等)、特別支援教育、防災教育)
- ・児童生徒理解に関すること
- ・校内研究等の推進に関すること

等、ご要望を伺います。



「生きる力」の育成のために、
すべての子供が安心して学べる
教育環境の整備を進めていきましょう。



BGM: MusMus

Kumamoto Prefectural Education Center